



監査報告書

2016(平成28)年5月24日

社会福祉法人よさのうみ福祉会

理事長 青木 一博 様

監事 谷川 正義 
監事 山口 薫 

両監事は、社会福祉法人よさのうみ福祉会の2015(平成27)年4月1日から2016(平成28)年3月31日までの事業年度に関し、理事の業務執行状況及び社会福祉法人の財産状況について、2016(平成28)年5月24日、監査を終日実施しました。

監査の結果、社会福祉法人よさのうみ福祉会が経営する事業所並びに各種事業について、事業報告書、決算報告書、決算付属明細表ならびに財産目録は正確で適正であり、法人・施設・事業の適正な運営に努力されていると認めます。

障害者支援施設「いきいき」の利用者預かり金は、「入所者預かり金等管理規程」に基づき別会計で経理され、適正に管理されていました。

昨年度の監事監査指摘で、①法人組織あげ2年越しで作成した「法人夢ビジョン」及び「めざす職員像」ならびに組織の見直しを活かすための努力と工夫、②「リスクマネジメント委員会」「苦情解決・障害者虐待防止委員会」の組織化や職員間の交流・学習の促進、③職員が生き生きと健康に働き続けられる職場風土づくりに向け、地域とのつながりを重視した取り組みの展開、の3点を指摘しました。

①は、「職員像活用検討委員会」が組織され、職種別職員像を具体化するための取り組みが進められ、次年度への継続課題とされていました。

②は、3年連続で全職員対象の虐待防止チェックリストが実施され、12月の全職員研

修会で集約結果と課題が提案されていました。また、職員の不適切な利用者支援に関して、職員学習会や職員間の話し合いが組織されていました。

③は、本年2月に「京都府子育て支援表彰」を受けるなど、法基準を超えた職員福利厚生及び契約職員を含む育児休業取得・職場復帰率の高さが評価されました。さらに、「メンタルヘルス対策委員会」が開催され、以前の監事監査で指摘した「必要な時に相談できる専門的な窓口」が開設され、精神分野の学識経験者と嘱託職員契約が図られました。また、継続的な「職場健康委員会」が組織化されました。

地域とのつながりでは、京丹後エリアでの「峰山共同作業所開設40周年記念イベント」や、与謝野エリアでの岩滝ホーム整備に向けた映画上映会など、積極的な取り組みが行われました。

このように、昨年度の監査で指摘した事項について一定改善の努力が図られていますが、引き続き課題の推進とともに下記の事項についても必要な措置を講じられ、今後一層関係法令を遵守し適正な法人及び事業所運営に努力されることを願います。

記

- (1) 「リスクマネジメント委員会」「苦情解決・障害者虐待防止委員会」の組織化及び体制整備をふまえ、法人組織内での情報や事例、課題の共有が旺盛に図られるように努力し、利用者支援の向上に努められたい。
- (2) 「めざす職員像」に基づくチャレンジシート作成と管理者面談において、それが機械的押しつけ的にならぬように留意し、職員の自主性を高め人材育成の有効な機会となるよう一層の工夫を図られたい。併せて、職員が生き生きと健康に働き続けられる職場風土づくりに一層努力されたい。
- (3) 当地域での無認可作業所開設から40年余が経過する中で、利用者の高齢化、加齢化は避けられないが、法人としての対応策が十分講じられているとは言えない。高齢者分野の事業所等との交流や連携を強めるとともに、職員がより適切な支援が出来る力量を高められたい。

以上